

議事録

令和7年度第1回 西東京市立向台小学校 学校運営協議会（要点記録）

日時：令和7年5月13日(火) 10時45分～13時10分

場所：向台小学校ランチルーム

出席：青木 秀雄委員、新井 浅浩委員、菊屋 美恵子委員、鈴木 壮平委員、
備後 亜沙美委員、谷田部 繁門委員

欠席：尾林 和子委員、手塚 葉子委員

委員8名中6名の出席により本会議は成立。

協議等

第1部

- (1) 校長挨拶及び委員自己紹介
- (2) 西東京市コミュニティ・スクールについて
- (3) 会長・副会長選出

◆西東京市学校運営協議会規則第10条第1項「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める」とされている。ご意見、立候補等あるか。

(意見等なし)

◆会長として新井様、副会長として青木様に依頼しようと思うがよいか。

新井様を会長とすることに賛成の方

(全員挙手)

青木様を副会長とすることに賛成の方

(全員挙手)

いずれも全会一致のため会長を新井様、副会長に青木様とすることに決定。

<進行役交代>

◆議事録について

議事録は要点記録でよいか。

(異議なし)

議事録は要点記録とする。記録は白石主幹教諭に依頼する。

第2部

- (1) 令和7年度 学校経営方針及び教育課程について

◇「子どもたち一人ひとりが安全・安心に学ぶことのできる学校」を目指す。

◆大前提である安全・安心を第一にして環境を整えていく。

◆「危機管理マニュアル」を今年度作成している。これまでも校務に関する事項を「教育計画」として作成しているが、今後は危機管理に関する事項を抜き出し一元化。本校としての危機管

理とは何かを常に考え、整えていく。

- ◆子どもたちが安心して学ぶために、担任任せにせず組織的に対応する。子どもたちの健全な育成に資するために、校内委員会を定例にするとともに、必要に応じて臨時開催している。

- ◆いじめ/虐待/不登校/特別支援について

それぞれに主任教諭をマネジメント担当として配置。組織を構築していく。

- ◆子どもの変化に気付くのは教職員だけではない。保護者より、「我が子がこのような点で困っている。」と相談がある。早期対応する上で本当に助かっている。今後も何かあれば連絡を、というアナウンスを保護者に対し行う。

◇日頃の学習（習得）と学校行事等（活用・探究）の往還により、学習内容の確実な定着と共に学びを広げ、深めることのできる学校」を目指す。

- ◆基礎基本の習熟

令和6年度は総合的な学習の時間、体育の2本について校内研究で取り組んだ。令和7年度は、基礎基本の定着に焦点を当てていく。日々の学習を着実にいき、総合的な学習の時間等の学びに生かしていく。

- ◆子どもたちが学びを広げる

子どもたちに役割を与えることが大切だと考える。本校では学年レクリエーションや遠足、校外学習等の司会進行は子どもたちが行っている。令和7年度は組織的に取り組む。

(委員より)

- ◆本来子どもたちは学ぶことに貪欲であることを前提とし、学校経営の第一に掲げている点を嬉しく思う。

- ◆立川の事件に驚いた。向台はどうかなと思った。この問題はどのように受け止めているか。

➡学校だけで対応するのは厳しい時代。スクールソーシャルワーカーを活用するなど、役割分担が必要と考える。分業と連携。全て学校が、ではない。皆さんと諸課題を共有していくことが大切と考える。

- ◆日本語指導について、外国籍の児童は増えているのか。

➡増加傾向である。現在20人程度。この中で日本語の指導を希望している児童はやや少ない。本校の場合、モンゴル語、カタログ語、フランス語等母語が様々な家庭が多い。今年度は加配により教員が1名増えている。

- ◆愛校心の高い教師を育ててほしい。教職を辞めさせず、授業力を向上させつつ、本当に大変だと思う。保護者対応も大変だと思う。ぜひ学校のチーム力を向上してほしい。

➡令和7年度、本校の新規採用教員はいない。西東京市全体でも昨年度より3割減となっている。一人の教員だけに責任を負わせるのではなく、皆で組織的に行うようにする。このために組織をつくり、その組織が稼働するように動かしていく。以前と違い、教員を育成することの難しさは感じている。チームで取り組んでいく。

◆立川のニュースを踏まえ、安全の確保、教員の役割分担をどうするか。

→押し付け合いでは分断が起きてしまう。「できないところを皆でやっていこう。」という風土が必要だと考える。

◆いろいろな行事が少しずつ復活してきた。令和6年度の展覧会はよかったという保護者の声を聞いた。一堂に作品が展示されることで、自分の子だけではなく成長の過程を実感できるのがよい。音楽会や運動会の復活は、子どもたちの活躍の場が増え嬉しい。

→運動会は児童鑑賞日と保護者鑑賞日の二部構成で実施する。会場の容量の問題である。

学校経営方針の承認について、決を採りたいと思う。

協議会の議事は西東京市学校運営協議会快速第11条第3項により出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによることとされている。

(全員挙手)

全会一致のため、可決。学校経営方針は承認された。

(2) 地域・保護者・学校の連携充実に向けて

◇持続可能なPTA組織を目指し、むこさぼカンパニーとして取り組んでいただき感謝している。活動状況がよいからこそ、今後を見据え、本校の実態を踏まえたPTAの在り方を検討し、持続可能な形を構築していきたい。

◇連携の方向性について、連絡手段が一つの鍵を握っているのではないかと考えている。早急に大きな変革を起こすというものではない。「PTAの在り方検討」への参加メンバー、開催日時について意見がほしい。

(委員より)

◆地域より、誰を呼ぶのか考えないといけない。

◆令和7年度は多くの役員立候補者がおり運営することができているが、次年度以降立候補者がいるかどうかは分からない。任期について、本来複数年がよいことは理解しているが、家庭の事情等でなかなか難しいのが現状である。令和6年度から7年度の引き継ぎはとても丁寧に受けることができ安心して活動に取り組むことができている。現在、マニュアル等についてはクラウド上でデータベース化しているので、各家庭で参照できる状況になっている。

◆けやき会や他団体のことはあまりよく分からなかったりする。スクールソーシャルワーカーという存在も、今回初めて知った。向台小と関わりのある団体を知ることができると、それぞれの役割分担について考えることができるようになるのかと思った。

◆このような取組が、ゆくゆくは街づくりにつながっていくと思う。昨今、自治会組織は少なくなっている。人口は増えているが、自分の周りにどのような組織があるのか、知らない家庭が増えてくると思う。だからこそ、今後学校という役割がとても大切になってくるのではないかな。

ゆえに大きな視野まで含めた上での在り方の検討が必要ではないか。

➡参加メンバーを決めればよいということではないと分かった。次回協議会にて全体像を示し、再度提案したい。

◇今後の予定について

参観の時間は確保していない。今年度は公開の場を増やしていくので、ぜひ子どもたちの様子を見に来校してほしい。委員用の来校証を用意します。

以上で本日の協議項目は終了した。

その他、連絡事項について何かあるか。

(なし)

次回会議開催予定

令和7年7月16日(水) 10時45分から

議事録は作成後に改めて確認していただき正式決定とする。

以上で令和7年度第1回西東京市立向台小学校 学校運営協議会を終了する。